

# 令和4年度簡易水道事業 上半期業務状況説明書

## 1 事業の概要

主な建設改良工事の執行状況（100万円以上）

	工事名	工期	契約額（円）
1	合地沢浄水場テレスコープNo.4更新工事	R4. 5. 20～R5. 2. 3	10,010,000
2	向川口増圧ポンプ設備実施設計業務	R4. 8. 8～R5. 3. 24	2,750,000

## 2 経理の状況

### (1) 予算執行状況

収益的収入及び支出

区 分		予算額（円）	執行済額（円）	執行率（％）
収 入	1 水道事業収益	147,596,000	51,159,730	34.7
	1 営業収益	77,345,000	40,344,602	52.2
	2 営業外収益	70,249,000	9,942,828	14.2
	3 特別収益	2,000	872,300	43615.0
支 出	1 水道事業費用	144,324,000	28,073,059	19.5
	1 営業費用	130,473,000	22,115,828	17.0
	2 営業外費用	13,651,000	5,957,231	43.6
	3 特別損失	200,000	0	0.0

資本的収入及び支出

区 分		予算額（円）	執行済額（円）	執行率（％）
収 入	1 資本的収入	78,035,000	78,035,000	100.0
	1 他会計出資金	78,035,000	78,035,000	100.0
支 出	1 資本的支出	96,514,000	52,822,703	54.7
	1 建設改良費	15,838,000	12,760,000	80.6
	2 企業債償還金	80,676,000	40,062,703	49.7

(2) 損益計算書

令和4年度住田町簡易水道事業損益計算書

(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

(単位：円)

1	営業収益			
	(1) 給水収益	33,573,560		
	(2) 受託工事収益	2,492,728		
	(3) その他営業収益	<u>624,000</u>	36,690,288	
2	営業費用			
	(1) 原水費及び浄水費	1,915,671		
	(2) 配水費及び給水費	1,133,050		
	(3) 受託工事費	595,000		
	(4) 総係費	5,560,697		
	(5) 減価償却費	<u>42,563,000</u>	<u>51,767,418</u>	
	営業利益			△ 15,077,130
3	営業外収益			
	(1) 受取利息及び配当金	1,628		
	(2) 他会計補助金	9,939,000		
	(3) 長期前受金戻入	25,713,000		
	(4) 雑収益	<u>2,200</u>	35,655,828	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	<u>5,957,231</u>	<u>5,957,231</u>	29,698,597
	経常利益			<u>14,621,467</u>
5	特別利益			
	(1) その他特別利益	<u>872,300</u>	<u>872,300</u>	<u>872,300</u>
	当年度純利益			15,493,767
	前年度繰越利益剰余金			31,475,851
	その他未処分利益剰余金変動額			<u>0</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>46,969,618</u></u>

(3) 貸借対照表

令和4年度住田町簡易水道事業貸借対照表  
(令和4年9月30日)

(単位：円)

資産の部

1. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ. 土地		13,670,925	
ロ. 建物	87,241,849		
減価償却累計額	<u>△ 7,116,602</u>	80,125,247	
ハ. 構築物	1,633,006,018		
減価償却累計額	<u>△ 181,779,122</u>	1,451,226,896	
ニ. 機械及び装置	130,236,973		
減価償却累計額	<u>△ 30,125,562</u>	100,111,411	
ホ. 車両及び運搬具	139,936		
減価償却累計額	<u>0</u>	139,936	
ヘ. 工具器具及び備品	699,046		
減価償却累計額	<u>△ 68,366</u>	630,680	
ト. 建設仮勘定		<u>2,800,000</u>	
有形固定資産合計		1,648,705,095	
固定資産合計			1,648,705,095
2. 流動資産			
(1) 現金預金		384,902,863	
(2) 未収金	6,319,820		
貸倒引当金	<u>△ 1,038,571</u>	5,281,249	
(3) 貯蔵品		9,330	
(4) その他流動資産		<u>598,361</u>	
流動資産合計			<u>390,791,803</u>
資産合計			<u><u>2,082,059,898</u></u>

負債の部

3. 固 定 負 債			
(1) 企 業 債			
イ. 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	403,063,540		
ロ. その他の企業債	<u>30,110,000</u>		
企 業 債 合 計		<u>433,173,540</u>	
(2) その他固定負債		210,000	
固 定 負 債 合 計			433,383,540
4. 流 動 負 債			
(1) 企 業 債			
イ. 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	37,972,973		
ロ. その他の企業債	<u>2,640,000</u>		
企 業 債 合 計		<u>40,612,973</u>	
(2) 未 払 金		151,412	
(3) その他流動負債		4,512,514	
流 動 負 債 合 計			45,276,899
5. 繰 延 収 益			
(1) 長 期 前 受 金		1,117,445,598	
長期前受金収益化累計額		<u>△ 103,016,284</u>	
繰 延 収 益 合 計			<u>1,014,429,314</u>
負 債 合 計			<u><u>1,493,089,753</u></u>

資本の部

6. 資 本 金			517,044,824
7. 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
イ. 補 助 金	<u>8,105,903</u>		
資 本 剰 余 金 合 計		8,105,903	
(2) 利 益 剰 余 金			
ア. 当年度末処分利益剰余金	<u>46,969,618</u>		
利 益 剰 余 金 合 計		<u>46,969,618</u>	
剰 余 金 合 計			<u>55,075,521</u>
資 本 合 計			<u>588,970,145</u>
負 債 資 本 合 計			<u><u>2,082,059,898</u></u>

### 3 令和3年度決算の状況

#### (1) 業務の状況

令和3年度末の水道普及状況は、行政区域内人口が前年度比184人減の4,995人、現在給水人口は前年度比96人減の3,273人となり、行政区域内人口に対する普及率は、前年度比0.48ポイント増の65.53%となった。

また、総配水量及び有収水量の状況は、年間総配水量が前年度比40,742 m<sup>3</sup> (10.28%) 減の355,621 m<sup>3</sup>で、有収水量は前年度比12,785 m<sup>3</sup> (4.79%) 減の254,276 m<sup>3</sup>、有収率は、前年度比4.12ポイント増の71.50%となった。漏水調査と布設替工事を積極的に進めているものの、配水管の老朽化に伴う漏水発生件数は前年度よりも減少しているが、空き家における宅内配管の漏水が影響し、有収率の大幅な改善には至っていない。

#### (2) 建設改良等の状況

浄水場施設整備事業としては、耐用年数を過ぎた合地沢浄水場テレスコープと金沢浄水場濁度計の整備を実施し、耐用年数を過ぎ老朽化した電気設備の更新を図った。

配水管整備事業としては、国道340号の道路改良に伴う上有住配水管等移設工事を実施し、管網の構築、補強に努めた。漏水防止対策事業としては、浄水場からの配水量の推移に注視し、配水管の早急な修繕を実施した。

水質検査は、全項目検査(51項目)を実施したほか、平常項目検査(9項目)などを毎月行うとともに、残留塩素の測定を毎日実施し、水質に異常がないことを確認した。検体の合計数は、62検体であった。

#### (3) 収入及び支出の状況

##### ア 収益的収入及び支出(税抜き)

本年度の営業収益は前年度比3,738,389円(5.07%) 減の69,973,489円であり、営業費用は前年度比5,656,960円(4.56%) 減の118,339,101円で、48,365,612円の営業損失となった。総務省の繰出基準に基づく一般会計補助金や長期前受金戻入などの営業外収益により、当年度純利益は、前年度比1,491,365円(4.97%) 増の31,475,851円となった。しかしながら、給水原価(299.59円)が供給単価(270.85円)を上回り、給水に要する費用を料金収入では賄えない状況にあることから、さらなる経営健全化に取り組む必要がある。

##### イ 資本的収入及び支出(税込み)

資本的収入は前年度比7,686,544円(7.40%) 減の96,255,063円で、内訳は、分担金及び負担金19,503,063円(33.42%減)、出資金76,752,000円(108.46%増)である。

一方、資本的支出は前年度比8,063,965円(7.42%) 増の116,711,938円で、内訳は、建設改良費37,319,700円(19.00%増)、企業債償還金79,392,238円(2.72%増)である。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額20,456,875円は、当年度分消費税及び地方消費税

資本的収支調整額 1,619,695 円、過年度分損益勘定留保資金 18,837,180 円で補填した。

年度末の企業債残高は前年度比 79,392,238 円(13.38%)減の 513,849,216 円で、給水収益に対する割合は 734.35%となっており、多額の企業債償還負担のもとで今後の施設更新費用を捻出していくため、施設規模の見直しと効率的な利用に加え、適切な財源の確保が不可欠となっている。

(4) 経営指標に関する事項

令和 3 年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、営業費用における維持管理費等の減により前年度比 5.58 ポイント増の 129.08%となり、健全経営の水準とされる 100%を上回っている。また、料金水準の妥当性を示す料金回収率は前年度比 8.37 ポイント増の 90.41%と改善しているが、事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況とされる 100%を下回っている。一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比 4.60 ポイント増の 9.54%となっている。

〈経営指標の推移〉

経営指標	R2	R3
経常収支比率	123.50%	129.08%
料金回収率	82.04%	90.41%
有形固定資産減価償却率	4.94%	9.54%